

# 150<sup>th</sup> 1875-2025 ANNIVERSARY The Doshisha

## 同志社の礎を築いた人々



山本 覚馬 [1828~1892]

新島を結社して同志社英学校を設立。新島亡き後は、臨時総長として同志社を支えた。

J.D. デヴィス [1838~1910]

米国人宣教師で、新島の理解者。同志社英学校の運営に協力するとともにその発展に尽力した。



[1879年] 同志社英学校 第1回卒業生



新島 八重 [1845~1932]

新島の妻。同志社女子部の基盤を築く。新島の死後は日本赤十字社篤志看護婦として従事した。

D.W. ラーネッド [1848~1943]

米国人宣教師で同志社大学第2代学長。1876年に同志社英学校・書性部を創設。82年に同校に就任した。



小崎 弘道 [1856~1938]

同志社第2代社長を務めた。牧師ならびにキリスト教の指導者としても活躍した。

渡辺 肇一 [1840~1931]

同志社社長、同志社名義者。設立の最期に賛同し、自ら多額の寄付をするなどにも資金を管理した。



原田 助 [1863~1940]

同志社第7代社長。国際的に活躍したキリスト者のひとり。ハワイ大学第1号の名義教授。

海老名 弾正 [1856~1937]

第6代同志社社長。牧師、教育者。同志社英学校で学び、1876年に同志社英学校に入社。

## 建学の 未来へ

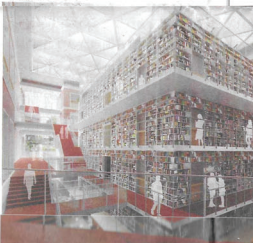
同志社の150年には、日本近現代の歴史があります。「キリシタン禁制の高札」が撤去された後の1875年11月29日、京都に開校した。保守的な市民や宗教界からは、京都に「の」として批判の矢を浴びることになり、求められた戦争の時代には、キリスト教内外から発せられ、学校として存続の危機に陥りました。

同志社は2人の教師(新島襄と宣教師)で始まりました。現在、同志社大学は29,000人の学生を擁する総合大学と卒業生を輩出してきています。建学以来、このことは本学の誇りであり、困難な時代の苦労のもとに現在の同志社があることを持つて受けとめています。

同志社の創立者・新島襄は教育の独立のために晩年奔走しましたが、彼自身、46歳11ヶ月の人生を閉じました。ある徳富蘇峰に、自らの深刻な病に對する熱い思いを吐露する手紙を書に記された漢詩の一節「借大帯期帯(大帯を借りて邦土を掃く)と期す」は、「古い日本を大掃除して、新しい社に10年来計画してきた大学設立を成しを凝縮しています。

大学を基軸とする新しい教育による新島の志は、スケールの大きなもの

※完成イメージ



▲ 同志社の「歴史」と「知」の集積を象徴する今出川キャンパスの新図書館



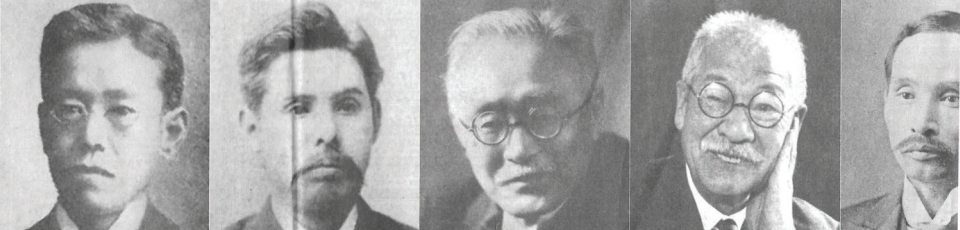
キャンパスのリニューアル等の同志社創立150周年記念事業(大学事業)についてはこちらをご覧ください。

## 同志社大学 Doshisha University

今出川校地 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入  
京田辺校地 〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3  
<https://www.doshisha.ac.jp>



※渡辺肇一氏、海老名弾正氏、元良勇次郎氏、新渡戸稲造氏、徳富蘇峰氏、安部磯雄氏の写真は、国立国会図書館「近代日本人の肖像」(www.ndl.go.jp/portrait/)より引用 ※麻生正蔵氏の写真は日本女子大学より、高屋良氏の写真は



元良 勇次郎 [1858~1912]

帝国大学文学部(東京大学)の教授として、東大心理學の学長を歴任した。同志社英学校1期生。

浮田 和民 [1859~1946]

同志社教員を経て東京専門学校(早稲田大学)の政治学、歴史学教授となる。同志社英学校1期生。

新渡戸 稲造 [1862~1933]

同志社社長、理事として経営に協力。理事長に就任した。同志社を訪れ、講演などを行った。

徳富 蘇峰 [1863~1957]

新島を敬愛し大学設立運動に熱情的に協力。同志社英学校編入後、新島から洗礼を受けた。

麻生 正蔵 [1864~1933]

同志社英学校編入後、新島から洗礼を受けた。同志社大学校長・校長を務めた。

NIKKEI  
The STYLE  
Advertising

## science

見える上での羅針盤として、私たちを見、再解釈し、唯一無二の誇りある使命です。  
Good Conscience」を掲げます。ぎ、実践するという意味を含めし出す力でした。また新島は、新しいの伝統に甘んじることなく、「共に。この挑戦を具体化するため、5つ

## 総合知の展開と 育の深化

「知を組み合わせ、新たな価値を生みで発展させます。徳育の基盤としなと。同志社教育の核心とされてします。分断と対立が深まる世界のにある人々を支えるため、「自治自づ人物が求められます。「共に知をとりなし、世界の人々の良心を力を与えた人物を輩出します。

知識の育成の両立  
れずに自由奔放に振舞うこと

## 実践

尊秩序が揺らぐ中、本学は、国や文を備えた真の国際人を育てます。の一人ひとりを愛する大切さを訴え、隣人愛と「国際主義」は一体かし、困難な状況にある人々に目を平和のために協働できる人物を育



新島 襄 [1843~1890]

1864年に国禁を犯して出陣し、フィリピンアカデミー・アーモスト大学、アンダーグラーフ神学校を卒業。1874年に帰国し翌年11月29日、同志社英学校を設立した。同志社大学設立資金運動に奔走。志半ばで病れた。



平尾 誠二 [1963~2016]

ミスタークラブ。同志社大学クラブ部で史上初の大学選手権3連覇。元日本代表選手・監督。

千 玄室 [1923~2025]

茶道美千家15代・前家元(「幽玄」)。世界に茶道文化を伝えた同志社精神の体現者。



Kazuo Kurita / アフロ

同志社

1875年

次の未来に向けたリニールプロジェクトが進む京田辺キャンパス ▲